



VICTORIA



british columbia full of life

VICTORIA

british columbia full of life

ブリティッシュ・コロンビア州のビクトリアは活気に満ちあふれています！カナダで最も温暖な気候、見事な庭園の数々、年間を通して楽しめるアウトドアアクティビティー、オリジナリティーあふれる美味しい料理、興味深い歴史、ファミリー向けの楽しいアトラクション。さまざまな楽しみ方が可能なビクトリアにぜひお越しください。ブリティッシュ・コロンビア州の州都であり、国際都市の魅力と気軽に歩いて回れるエレガントな雰囲気が人気の街です。

アトラクション

街のランドマークともなっている州議事堂に始まり、お城、博物館、美術館、ビクトリアの歴史を感じさせる建築物、その他たくさんのアトラクションが、訪れる人々を歴史、文化、色彩溢れる世界へと誘います。ビクトリアの絶対見逃せないアトラクションの一部をご紹介します。

ブッチャート・ガーデン

ブッチャート・ガーデンの曲がりくねった小道と広大な芝生を歩いていくと、55エーカーの敷地に美しいタペストリーのような花園がいくつも広がっています。ブッチャート・ガーデンは、1904年にロバート&ジュニー・ブッチャート夫妻によって採石場跡地を美しい庭園に変えるという試みとして始まりました。その試みがブッチャート家の庭づくりへの情熱と献身的なおもてなしの心へとつながり、100年以上に渡り世界中から訪れる人々を楽しませているのです。優美なサンクンガーデンから魅惑的なイタリアンガーデンまで、この色とりどりの花が咲き競う庭園は、カナダ国立史跡として古き時代の優雅な伝統を今に伝えています。

ロイヤル・ブリティッシュ・コロンビア博物館

絵画のように美しいビクトリアのインナーハーバーに位置するロイヤルBC博物館には、自然と人間が織りなすブリティッシュ・コロンビアの歴史や、先住民族の歴史に触れていただく展示が数多く収められています。氷河時代や古い町並み、海岸林などを再現しており、きつとかつての時代に身を置いたような臨場感を体験できることでしょう。また、ロイヤ

ルBC博物館は世界的に有名なコレクションの展示を定期的に主催しています。

アフタヌーンティー

19世紀、英国からの移民がビクトリアにアフタヌーンティーの習慣を伝えて以来、アフタヌーンティーはビクトリアの伝統となりました。フェアモント・エンブレス・ホテルのような格式あるホテルから、緑豊かな庭園、趣あるこじんまりとしたティールームまで、さまざまな場所でアフタヌーンティーが楽しまれています。観光客もこの街の人々も、ビクトリアが誇る指折りの美しい景色を眺めながら、いたるところでアフタヌーンティーを味わうことができます。多くのティールームでは、独自にブレンドした紅茶に加え、摘みたての旬のベリー類、上品なフィンガーサンドイッチ、ジャムやこくのあるホイップクリームをたっぷり添えたスコーンなど、人気のメニューを揃えています。

アウトドアアクティビティー

野外でのさまざまなアクティビティーは、バンクーバー島での時間に欠かせない楽しみの一つです。カナダで最も温暖な気候のおかげで、ビクトリアを訪れる人々は一年を通じてアウトドアアクティビティーを楽しむことができます。ビクトリアで体験できる陸上と水上でのアクティビティーは実にバラエティー豊か。サイクリング、ゴルフ、ハイキング、カヤッキング、セーリング、フィッシング、バードウォッチング、ホエールウォッチングや、他の海洋生物ウォッチングなどは、一年中楽しめるアクティビティーのほんの一例です。また“カナダで最もサイクリングの盛んな街”と評されるビクトリアには、最長で50kmに及ぶ素晴らしい眺めのサイクリングルートが数多くあり、季節を問わず

サイクリングツアーには最適な場所です。なだらかな海辺のハイキングコースから起伏の激しいクライミングコースまで、さまざまなコースが楽しめる州立公園も点在しています。

ホエールウォッチング&野生動物ウォッチング

ビクトリアとバンクーバー島周辺の海域はさまざまな種類の海洋生物の宝庫で、野生動物が観察できるスリリングなツアーも豊富です。最も人気があるのはビクトリアの沖合いに定住しているシャチ。およそ35頭の集団で回遊している様子が、5月から9月までの期間に最も頻りに観察できます。シャチほどではありませんが、ミンククジラ、コククジラ、ザトウクジラも夏季を中心に多く観られます。

ネズミイルカやゼニガタアザラシは、一年中観察できます。9月から5月にかけては、カリフォルニアアシカ、トド、時にはゾウアザラシが、ツアーに参加する人々の目を楽しませてくれます。また、ツアーでは、たくさんの種類の鳥も観ることができます。

庭園

ビクトリアは世界的に有名なガーデンシティ。完璧に手入れをされたブッチャートガーデン、夏季にダウンタウンの街灯を飾る1,000個以上の優雅なフラ

ワーバスケット、そして、素晴らしい公園や個人邸の美しい庭の数々に、ビクトリアの人々のガーデニングにかけける情熱があらわれています。2月には早くも桜の花が咲き始めます。3月と4月には数え切れないほどの水仙が咲き誇り、続いて5月はチューリップの季節です。また、ツツジも4月に咲き始め、ライラックやハナミズキとともに5月に最盛期を迎えます。6月には各種のバラが満開となり、夏の盛り庭園は紫陽花、ダリア、さまざまな種類の多年草や一年草でカラフルに彩られ、まばゆいばかりです。夏の終わりから秋にかけては、モミジや他の紅葉樹が景観を美しく染め上げます。

ショッピング

ガバメント・ストリート (Government Street)

ビクトリアのダウンタウンで最も人気があるショッピングエリアは、ガバメント・ストリート。ストリートとその周辺には、19世紀から続く老舗のお店が立ち並びます。イギリスのウール製品や陶磁器、スコットランドのタータンチェックの布地、アイルランドのレースなど、ガバメント・ストリートのお店のウィンドウには、ビクトリアに伝わる英国の伝統が明らかに感じられます。自家製のチョコレートや香り立つ紅茶、コーヒーを味わえるお店にも立ち寄ってみてください。先住民族のアート、ジュエリー、ブティック、さらにクリスマス用品専門店やギフトショップなども、にぎやかな通りに数多く並んでいます。

ロジョ (LoJo)

“LoJo”としても知られるジョンソン・ストリート (Johnson Street)の西側、ワーフ・ストリート

(Wharf Street)とダグラス・ストリート (Douglas Street)の間を訪れてみましょう。オールドタウンの中心エリアで多種多様な歴史ある建物に囲まれながら、流行を取り入れたお洒落なお店でのショッピングが楽しめます。主にローカルデザイナーの手によるファッションが並ぶ一方で、自然素材を使ったハンドメイドの商品や化粧品を扱っているお店もあり、ヘアサロン、カフェやレストランもあります。

チャイナタウン

ビクトリアのチャイナタウンは規模は小さいながら、カナダで一番古い歴史を持っています。かつてはアヘン窟や賭博場などが存在していましたが、今では各種商店や店舗一体型の集合住宅、昔ながらのアジアンマーケット、食堂が混在し、街をつくりあげています。カナダで一番狭い通りとして知られる、歴史を感じさせる路地、ファン・タン・アレー (Fan Tan Alley)の散策も楽しめます。さらにチャイナタウンを含むマーケットスクエア (Market Square)からヘラルド・ストリート (Herald Street)にかけてのデザイン地区には、多くの家具・インテリアショップが軒を連ねています。

ワイナリーツアーとグルメ体験

“ワイン・アイランド”と呼ばれるビクトリア近郊のワイン生産地域は、カナダで最も急成長しているワインの生産地です。またバンクーバー島の南部地域は、地元の特定の農家や生産者の手による食材を使った質の高い独創的な料理で知られ、“カナダのプロヴァンス”として評判を高めています。ビクトリアのレストランでもバンクーバー島の自然の恵みを味わえますが、カウチンバレー (Cowichan Valley)、サニッチ半島

(Saanich Peninsula)、スーク (Sooke)の農場やワイナリーを訪ね、それぞれのエリアの食の楽しみを体験することもできます。またビクトリアのパブ巡りを楽しむ“エールトレイル”(Ale Trail)では、地元醸造のビールと料理の組み合わせの楽しみ方を紹介しています。

カルチャー、イベント

ビクトリアでは一年を通じ、劇場公演、コンサート、オーケストラ公演、オペラ、ダンスパフォーマンス、各種ワークショップ、展覧会など、興味深いイベントが幅広く開催されています。現代風のギャラリー、舞台、コンサートホールから歴史のある劇場まで、使用される会場も多様で、時にはお城もイベント会場になります。ビクトリアはフェスティバルの街として知られ、ジャズフェスティバル、ミュージックフェスティバル、ボートフェスティバル、ビクトリアン・クリスマスなど、一年中さまざまな催しを楽しむことができます。特にクリスマス時期のビクトリアでは各種のイベントが用意され、スペシャルな時節の雰囲気にも包まれます。聖歌隊、アイススケート、コンサート、お祝いのご馳走、街を包む華やかなライトアップとデコレーションをお楽しみください。



アクセス情報

ビクトリアはバンクーバー島の南端に位置しているためアクセスしやすく、また、交通手段の豊富なこともビクトリアへの旅の魅力の一つです。ビクトリアそしてバンクーバー島への移動は、海路空路を問わず雄大なウエストコーストの自然を眺めることができ、それ自体が絶景を堪能できる観光旅行のひとつです。

空路

ビクトリアのダウンタウンから30分のビクトリア国際空港 (YYJ) へは、バンクーバー、シアトル、サンフランシスコ、トロント、カルガリー、エドモントン、ケローナからの直行便が毎日運行しています。また、多くの北米主要都市への経由便もご利用になれます。そのため、他の都市からビクトリアにフライト後にさらに別の都市へと向かう場合は、出発地に戻ることなく、ビクトリア空港から乗り継いで快適に旅を続けることができます。バンクーバーとシアトルからは、ビクトリアのダウンタウンへの定期運行の水上飛行機もご利用いただけます。また、バンクーバーとビクトリア間は、定期運行のヘリコプター便もご利用いただけます。さらに、観光やワイルドライフ・ウォッチング、あるいはバンクーバー島の遠隔地には、チャーター便のご利用も可能です。

海路

カナダ、バンクーバーから

BCフェリーは世界最大かつ最も発達したフェリーシステムで、ブリティッシュ・コロンビア州沿岸の25のルートに47の寄港地を持ち、36隻の車両・徒歩客用フェリーを運行しています。バンクーバー島に位置するビクトリアとバンクーバーを約1時間半で結ぶ航路では、年中無休で毎日多数の便が運行しています。

アメリカ、ワシントン州から

ビクトリア・クリッパー (Victoria Clipper) は、ワシントン州のシアトルダウンタウンとビクトリアを3時間弱で結ぶ徒歩客専用の高速双胴船で、年間を通じて運行されています。またブラックボール・フェリーラインは、ビクトリアのダウンタウンとワシントン州オリンピック半島のポートアンジェルスを結ぶ車両・徒歩客用「コーホー」フェリーを運行しています。その他、ワシントン州の他の地域からビクトリアへの車両・徒歩客用フェリーサービスも通年でご利用いただけます。さらに、アメリカ本土からビクトリアを訪れるさまざまなクルーズツアーも毎日運行されています。フェリーターミナルはビクトリアから30分北に位置するシドニーと、ビクトリアのダウンタウンのインナーハーバーにあります。



VICTORIA
british columbia full of life